

【アンケートのお願い!】

堺消防署の跡地をどうするべきか?

売却?
活用?

令和6年に移転する堺消防署

大小路と大道筋の交差点のすぐそばの堺消防署が、老朽化を理由に、令和6年に出島に移転することが決定しています。個人的には、あの近辺に引き続き消防署があつてほしかったのですが、堺市全体の配置バランスや、各消防署の機能などを十分に考慮した上での当局の決定なので、致し方ないところです。

堺区のだ真ん中の市有地は?

気になるのは、その跡地利用です。堺区のだ真ん中にある約1200㎡の土地です。売却すればマンション用地などとして、5億円以上になるとの試算もあります。一方、せっかくの一等地ですから、公共施設などに活用できないかという意見もあります。

活用するなら地域の声が大変

個人的には、堺区中心部にない図書館はどうかと思っています。人が集まる拠点があれば、阪堺線の経営再建にも一役買うかもしれません。ただ、活用するのならば、一番大事なものは市民、とりわけ近隣地域の声です。そこで聞かせてください!



【アンケート】

- 質問①：堺消防署跡地は売却?活用?その他?
- 質問②：活用ならどのようなものがありますか?
- 質問③：①②の理由があればお聞かせください。

アンケートは下記のご意見欄(FAX)か、メールでご回答ください。匿名でも結構ですが、ご連絡先を頂ければ、必ずお返事させていただきます。近々、議会でこの跡地利用について取り上げようと思っています。貴重なご意見として、その際に参考にさせていただきます。



堺観光自転車タクシーに乗ってきました

堺区の観光スポットをめぐる自転車タクシー「くるりん堺」に乗ってきました。運転手さんの軽妙なガイドで、堺の魅力を再発見! 自転車のまににピッタリの観光ツールです。3人まで乗車可能。お知り合いが堺に来た時のご案内にいかがでしょうか? 本年3月末までは要予約。問い合わせは、さかい利晶の杜まで。



ご意見をお寄せください!

FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: _____ TEL: _____
住所: _____

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

フッチーのつぶやき (編集後記)

「鬼滅の刃」が大ブームです。そこで私もこのチラシでブームへの便乗を試みました。あちこちに散りばめた10通りの「便乗」をすべて見つけた人から抽選で...というのは冗談ですが、暇つぶしにどうぞ。鬼滅ファンの皆さん、にわかな私ですがどうかご容赦を...



ふちがみ猛志 議会活動報告 23

活動情報発信中!

LINE@ はじめました。
LINE@ QRコード
LINE ID @os27708b

HP QRコード

Twitter QRコード @os27708b

ふちがみ猛志 市政相談所
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103
takeshi@fuchigami.info

年4回の議会定例会の度に、堺区全駅をまわって街頭活動を実施!

2021年 寒中お見舞い申し上げます

激動の2020年を終えて

2020年は、政治も経済も教育も、市民生活のすべてがコロナウイルスに翻弄されたような一年でした。感染された方はもちろん、様々な形で影響を受けた方々に心からお見舞いを申し上げます。世界に目を向ければアメリカ大統領選挙、ここ大阪では大阪市の廃止分割(いわゆる大阪都構想)を問う住民投票がありました。結果の捉え方は人それぞれでしょうが、閉塞感が漂う社会とギスギスした政治の大きな転換点になればと、私は願っています。

都構想議論は他人事でない

大阪市民は大阪都構想に二度目のNOを突きつけました。しかし、吉村知事・松井市長は「条例制定によって、大阪市の権限と財源を府に移管することを目指す」と表明。これは大阪都構想の根幹部分(大阪市の権限・財源の収奪)を、形を変えて行うもの



大阪市廃止分割反対の街頭活動に参加! よもやよもやの逆転勝利でした!

であり、二度にわたる住民投票の民意を踏みにじるものです。「条例で」ということは、言い換えれば「首長と議会の判断のみで」ということです。これを許してしまえば、堺市でも同じことが起こりかねず、決して看過できません。

今はコロナ対策に全集中!

今は国も地方自治体も、コロナ対策に全力で集中すべき時です。医療体制の確保、福祉・保育・教育等の現場支援、経済対策、生活困窮者支援等、やるべきことが山積しています。また、この10年間の維新府政での医療関係機関の統廃合や補助金の削減等が、医療現場の疲弊の原因とも指摘されており、橋下徹さん本人もそれを認めています。災害等の危機を想定して、公共がどのような役割を担い、平時からどういう体制を整備しておくのか、検証と見直しの議論が必要です。私は私の職責を全うします!



あっちこっちふっちゃー!

SAKAIトーク!

座談会の開催を見合わせます

例年2月から、堺区の全17校区で市政報告座談会「あっちこっちふっちゃー SAKAIトーク!」を開催し、新春号のチラシでご案内して参りましたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、冬季の開催を見合わせます。4月頃に感染対策を講じた上で開催できないか、状況を見極めていきます。開催情報は決定次第、SNS等で配信します。お気軽に事務所にもお問合せください。



榎小学校の過密問題がテレビ報道に

過密が進む榎小学校

堺市屈指の過密校・榎小学校。大規模マンション（ジョルノビル）の開発で過密が更に進むため、私は『**仕事が始まる以前から**』、ここを隣接してゆとりのある熊野小校区に変更すべきではないかと提案してきました。先日、そのことが毎日放送の夕方の情報番組でも取り上げられました。



保育所の基準にも満たない運動場

榎小の児童数は859人で、近々1000人を突破(熊野小は305人)。将来の教室確保は綱渡りで、学童保育はすでにパンク。**運動場は堺市内で最も狭く、1人あたり面積3.1㎡**。文科省基準は10㎡です。休み時間の運動場の利用も安全対策で3交代にせざるを得ない状況です。今後も過密は進み2.6㎡に。これは**保育所の認可基準(3㎡)にも満たない**のです。

【運動場の1人あたり面積】

熊野小	20.7㎡
三国丘小	4.4㎡
榎小	3.1㎡
保育所認可基準	3㎡
榎小(R6見込み)	2.6㎡



通学路の安全を考えるべき

ジョルノビルから榎小には約60名の児童が通うと予測され、通学路には「開かずの踏切」があります。一方、熊野小へは幅広い歩道が続きます。過密だけでなく、**通学の安全面からも校区変更が合理的**です。



ありえない「コミュニティの分断」

教育委員会はこの訴えに対し「コミュニティの分断につながるので校区変更しない」と繰り返しました。現に人が住んでいる場所ならまだしも、**私が最初に**

議会で訴えたのはマンションの販売開始の**ずっと前、工事が本格化する前**です。全く理解できない言い分でした。永藤市長も当初「検討しなくてはならない課題」としたものの、年には「(榎小)個別の案件ではなく、堺市全体の課題として申し上げた」と言い出す始末でした。



後手後手の対応が問題を深刻に

マンション販売が始まり、春には入居も始まります。「誰も住んでいない今なら」と訴えた校区変更も、タイムリミットが過ぎてしまいました。このほど、**政府が35人学級導入の方針**との報道がありました(12月)。過密校の教室数不足が心配されますが、榎に更なる校舎増築の余地はなく、対応できなくなった時には「校区変更も選択肢」だそうです(教育委員会答弁)。児童のいる地域を校区変更しなくて済むよう、「先読みして、誰も住んでいないうちに」と訴えてきたのですが、後手後手の対応が悔やまれます。

今から何ができるのか

ただ今からでも、せめて同マンションを**指定校変更許可区域**にし、希望によって熊野小も**選択できる**ようにすべきです。わずかでも榎の過密緩和につながりますし、選択した児童はゆとりのある環境を得られます。そのような複数校選択できる区域は、堺市で42例もあります。できるはずと信じ取り組みます。

子どものための判断だったのか

教育委員会はこの判断にあたり、児童や保護者、地域の方々とも「協議を持ったことはない」と答弁しています。では、誰のための判断だったのでしょうか？番組の最後にコメンテーターが「何かいいに**くような理由があるのでは**」と感想を述べていましたが、私も同じ思いです。少なくとも、教育のことは子どもが第一であるべきです。そうではなかった今回の教育委員会の姿勢を繰り返させぬよう、私は今後も「**子ども第一の教育**」を訴えていきます。

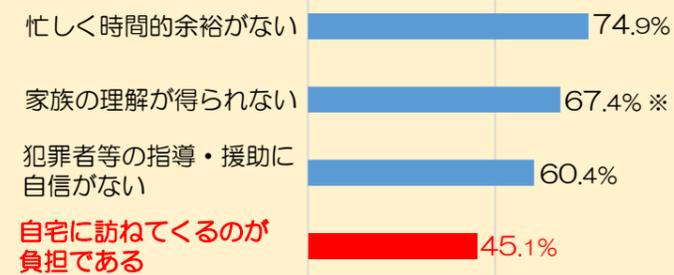


保護司活動に公共施設を

犯罪や非行をした人の更生を支援する保護司。なり手不足が深刻で、その原因として「**自宅で対象者と面談すること**」への抵抗感が挙げられます。また家族へのコロナ感染を恐れ、自宅以外での面談を望む保護司が増加。そこで現役保護司である私と木畑議員とで「**面談場所として、区役所の面談室など、公共施設の提供を**」と強く訴えました。健康福祉局長はその必要性を認め、「各関係機関(区役所)と相談していく」と前向きに答弁しました。

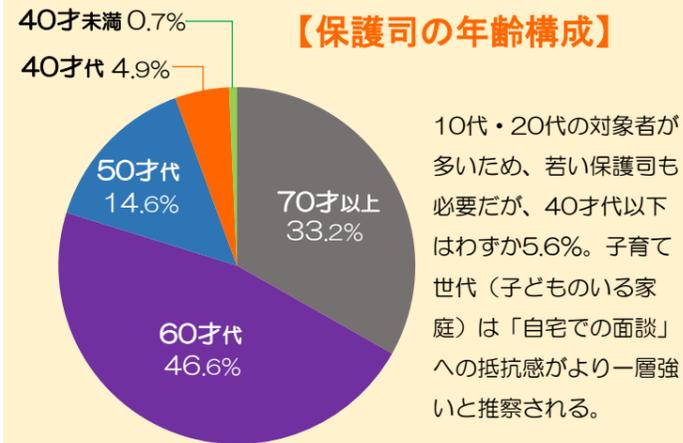


【保護司になることを断った理由】



※「家族の理解」にも「自宅での面談」が影響していると推察される

【保護司の年齢構成】



議会の外でも、小さなことからコツコツと。～地域のお困りごとは、ふちがみ猛志にぜひご相談ください～



大型車の通行の度に振動を起こしていた路面の凹凸を舗装。



夏休みのラジオ体操の前に伸びた公園の草を刈り取り。



通学時間帯の通行禁止道路のサインをわかりやすく。



カラスの攻撃被害が多発。ヒナの巣立ち後に巣を撤去。

ザビエル公園に利用者の声を

ザビエル公園にカフェ等の民間施設を誘致？突然の話に「**誘致ありきではなく、まずは利用者の声を**」と求めたのが昨年2月。当局はそれを受け、利用者アンケートを実施。以降も公園問題に熱心な小堀議員と協力して取り組み、とうとう12月議会で当局は「**民間活用だけに拘らない**」旨を表明。



利用満足度の高いザビエル公園。「今のままがいい」の声が多い。

いのちの授業を拡大

どのようにして生まれてきたのか。子どもたちがそれを学ぶことで、命の尊さと、自分も他人も大事だと知る。助産師が教える「いのちの授業」は、堺市では希望する学校から抽選で実施。「**全ての児童生徒が経験すべき**」と訴え、当局はその機会の必要性を認め、予算と助産師等の人材確保を進める旨、答弁しました。



保育士に慰労金支給

コロナ禍で感染リスクに晒されながら務める医療や介護の現場には、国から慰労金が支給されました。ならば、子どもたちと密着し、休園できない保育の現場も同じでは？「国がしないなら堺市で」と複数回にわたり永藤市長にも求めてきた、**保育士への慰労金支給がようやく実現!** (1人2万円分のQUOカード)



ふちがみ猛志、地域を走れエ!